

# 鳥獣害防止森林区域に関する有識者会議

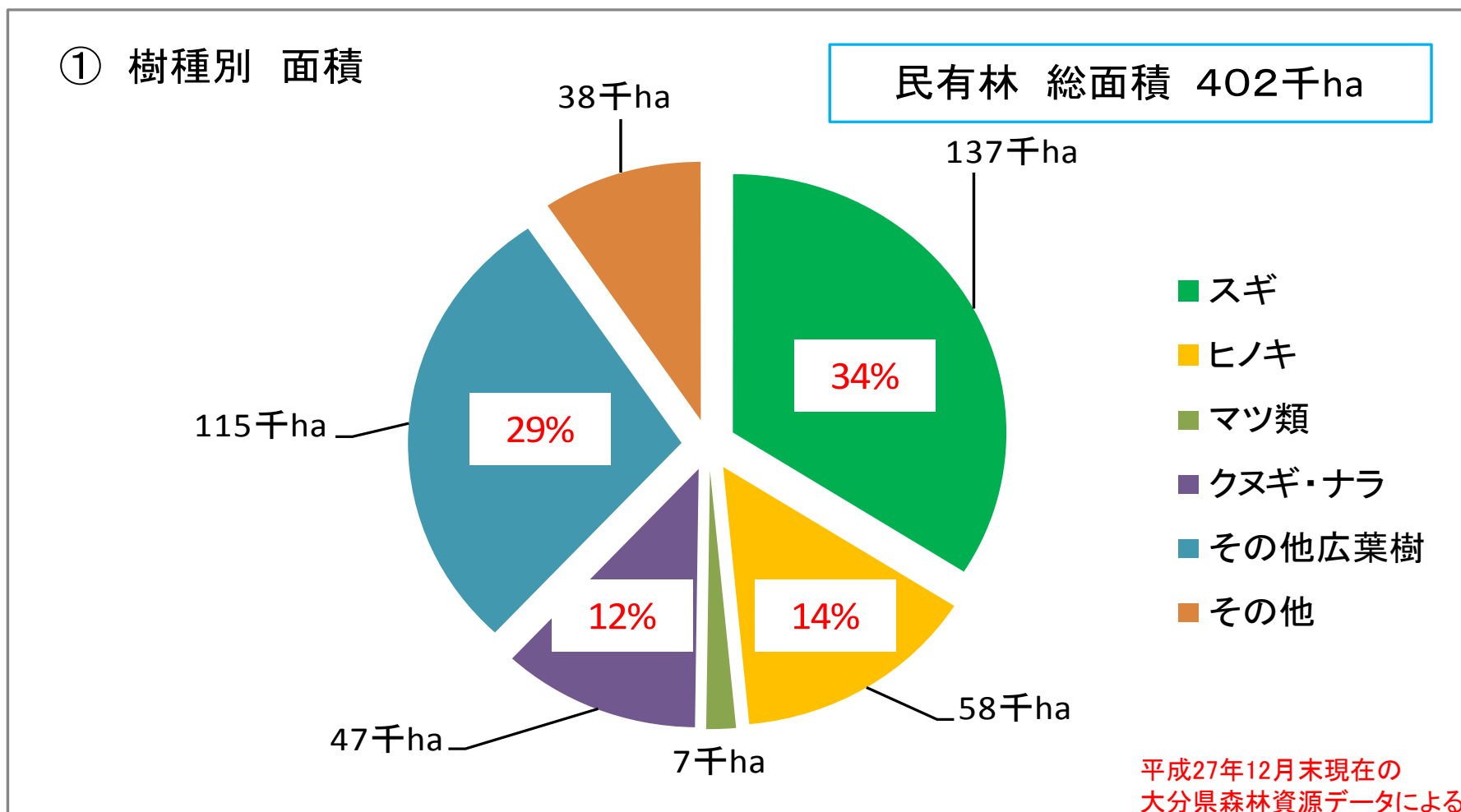
- I 大分県における森林・林業・木材産業の現状と課題
- II 森林におけるシカ等鳥獣害の現状と課題

大分県農林水産部林務管理課 主幹 松野裕史

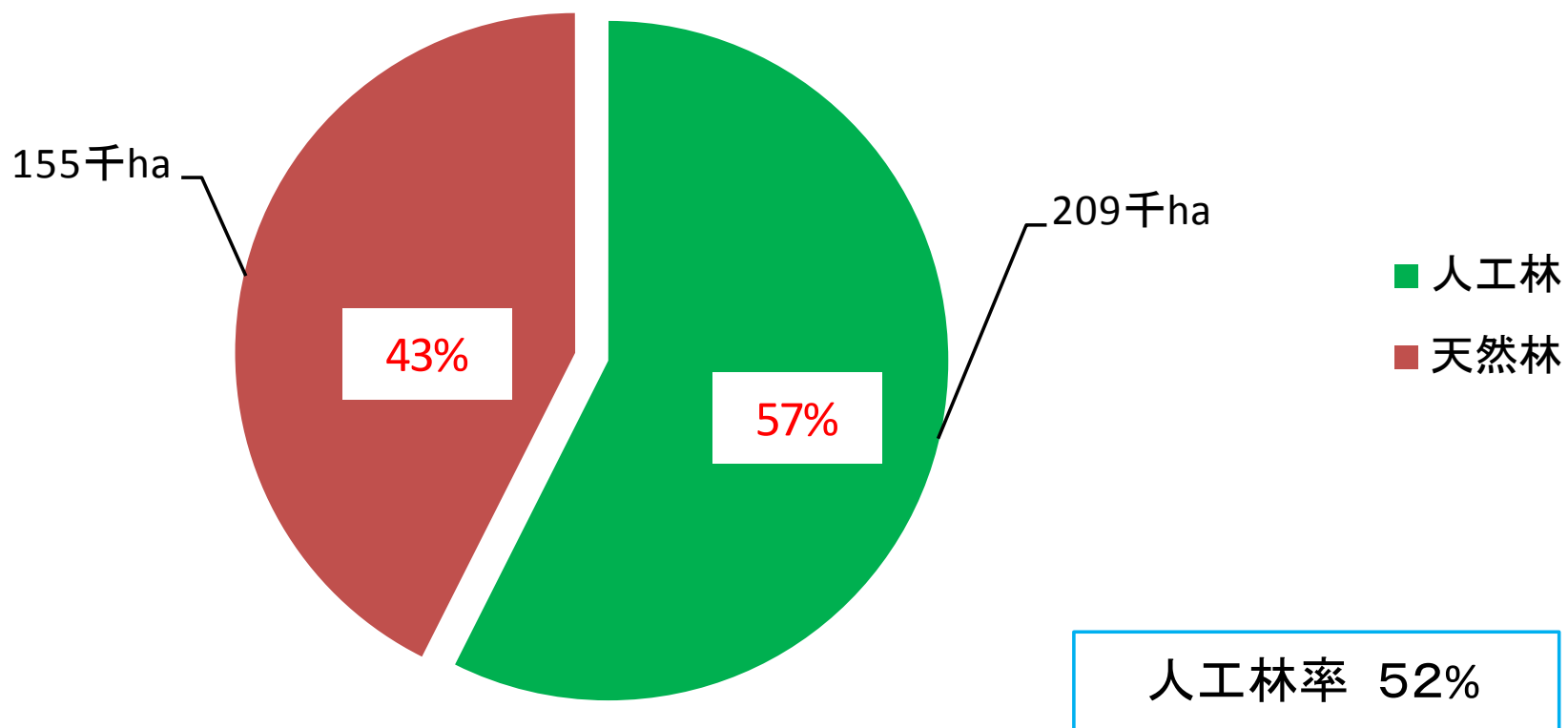
# I 大分県における森林・林業・木材産業の現状と課題

## 1 大分県の森林の現況

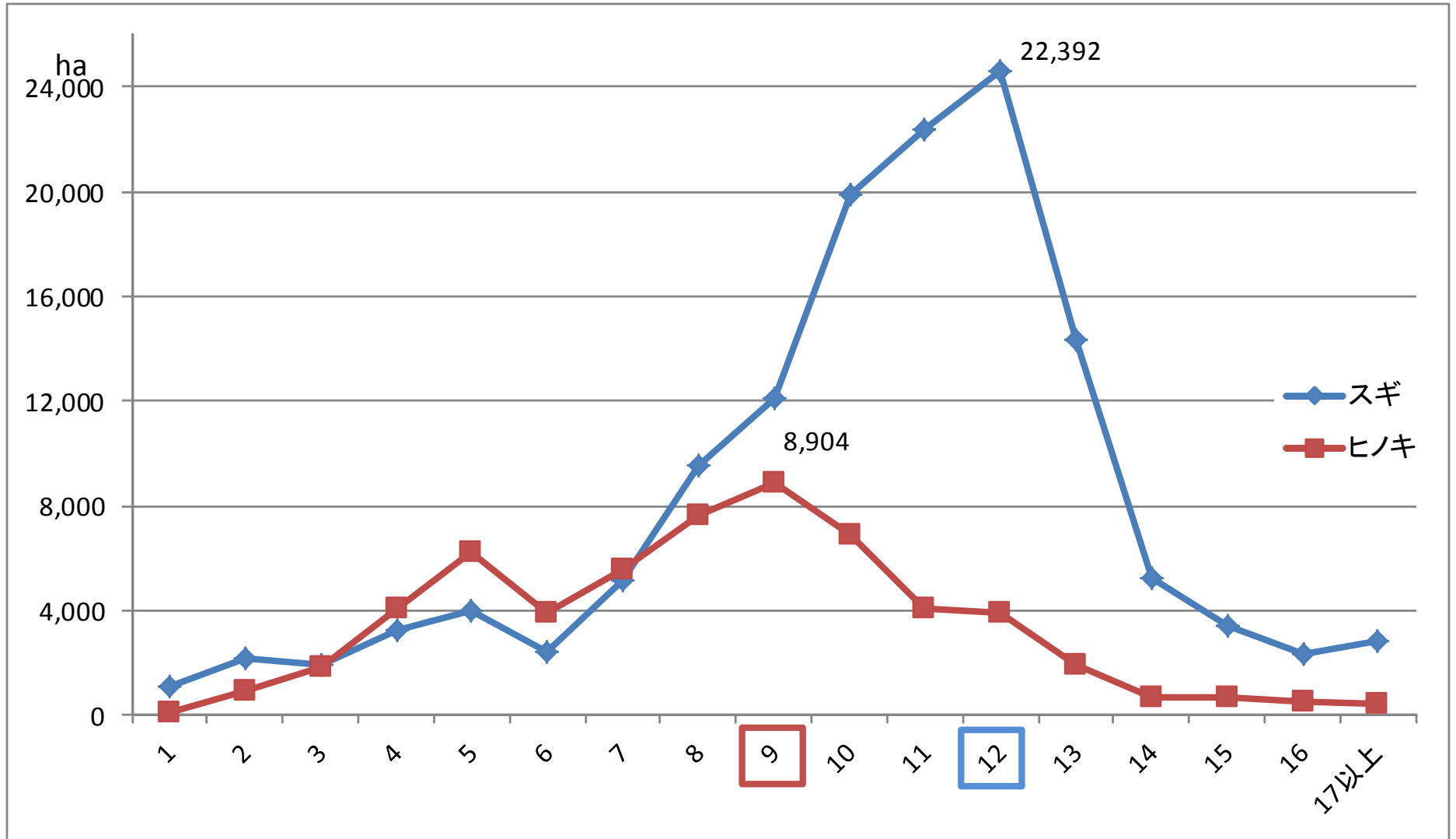
### (1) 森林の面積



## ② 人工林・天然林別 面積

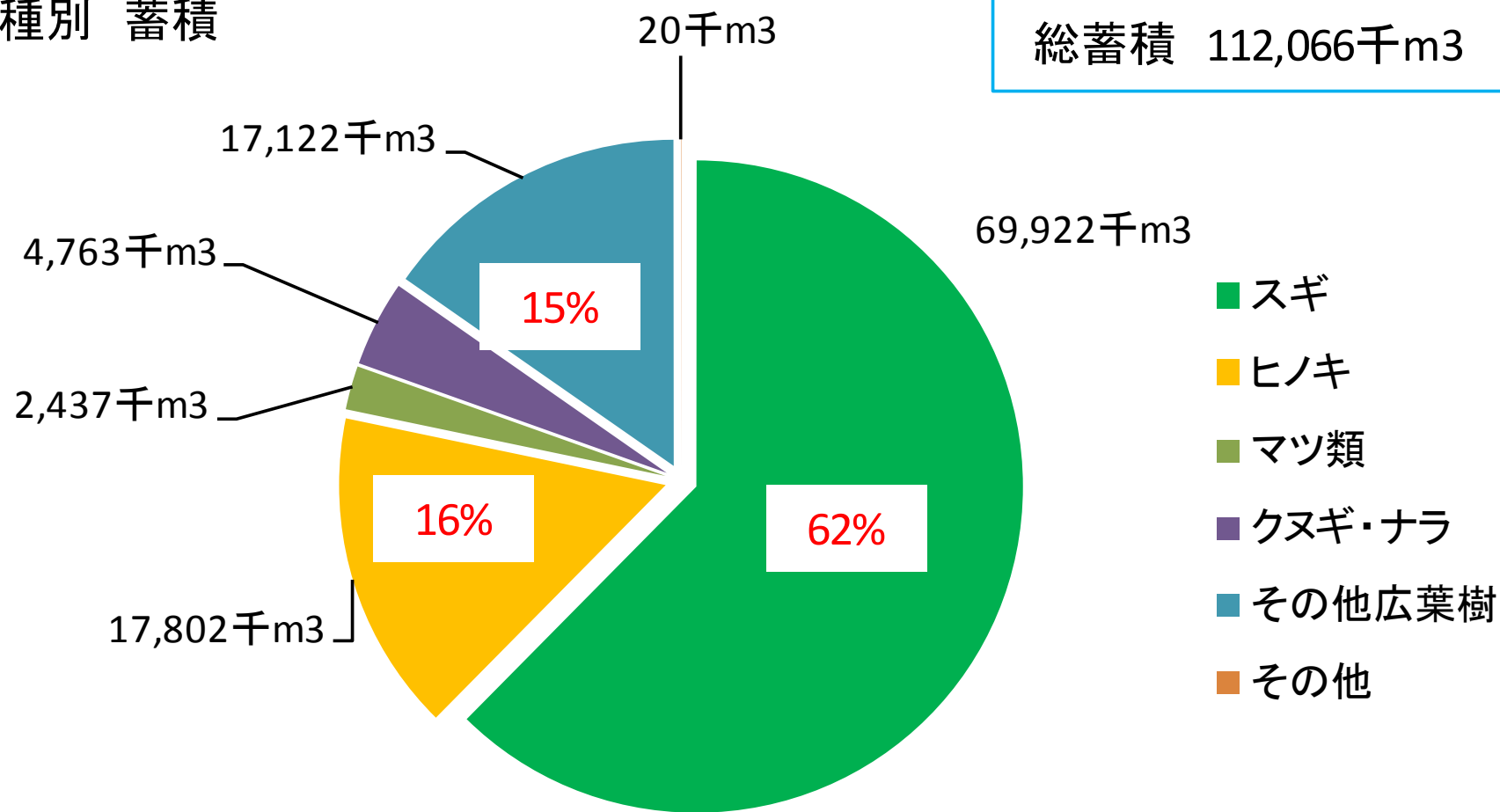


### ③ 齢級別森林面積(すぎ、ひのき)

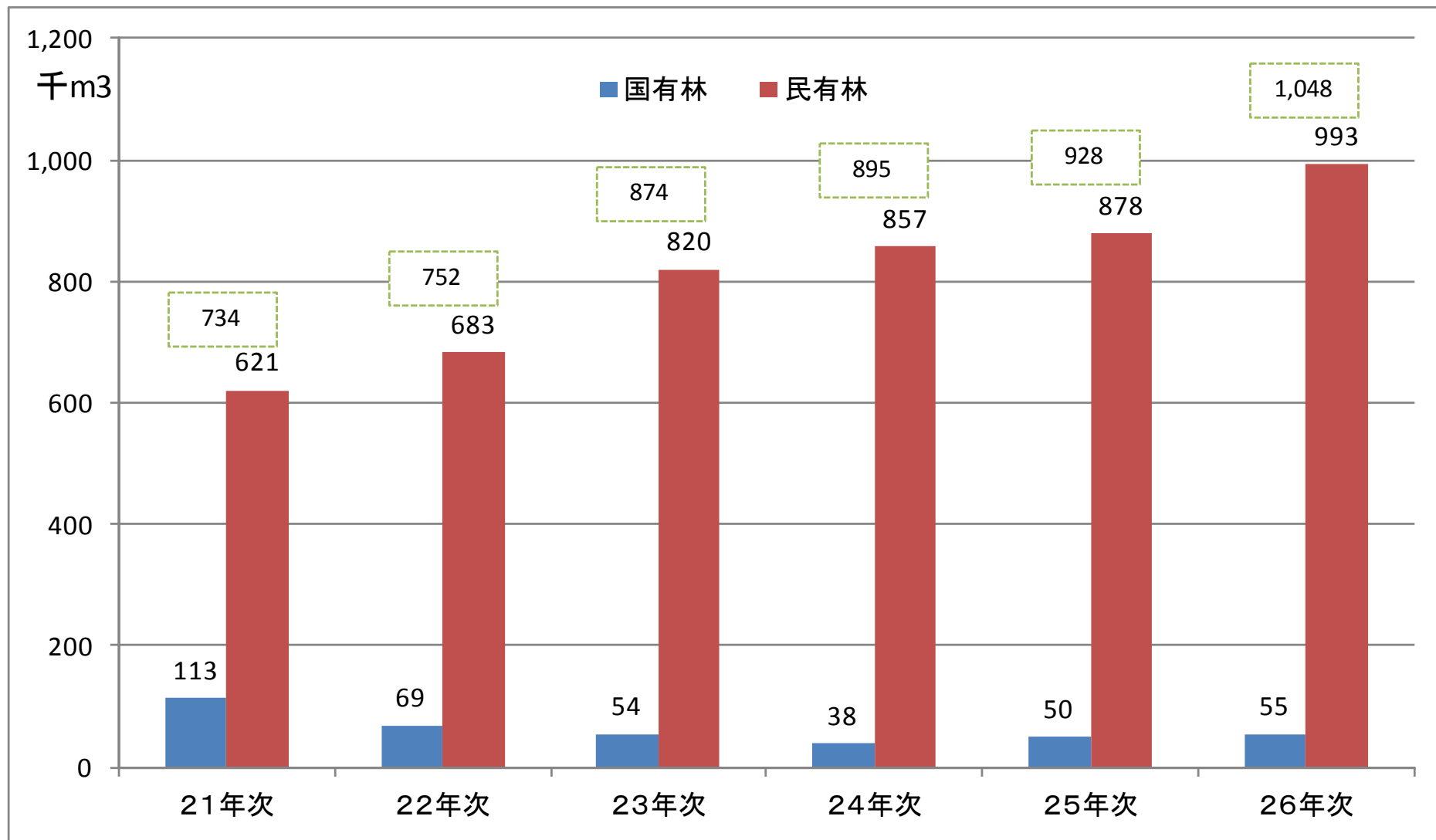


## (2) 森林の蓄積

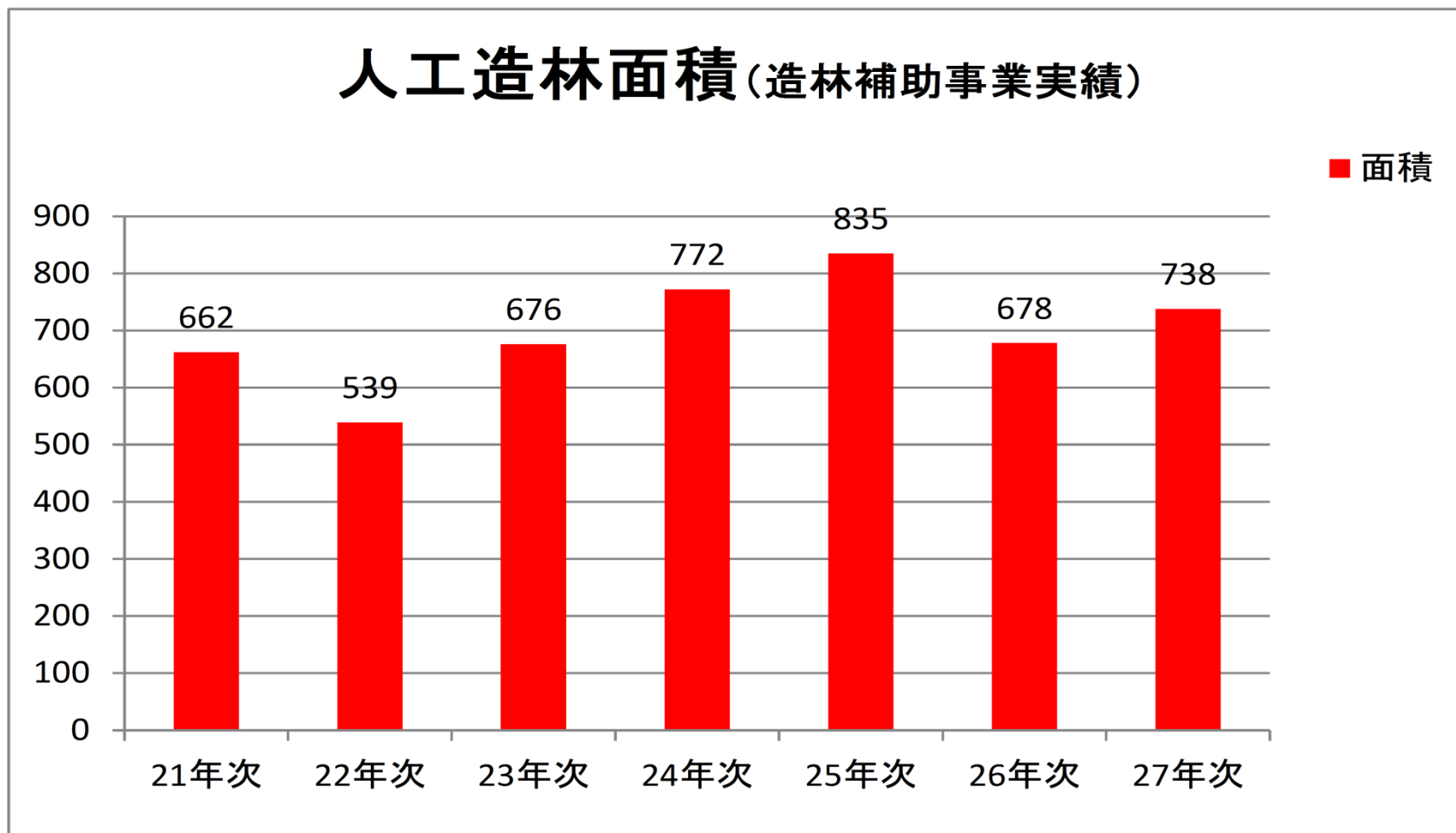
### 樹種別 蓄積



## 2 大分県の素材生産実績



### 3 大分県の人工造林実績



平成27年度 シカ被害防護柵設置延長 257km

設置割合 約2/3

## 4 森林資源の循環利用と木材の安定供給をするための課題

### 【林業】

#### 1 木材生産の効率化

計画的な事業地の確保や高性能林業機械の活用

#### 2 林業就労者の確保

大分林業アカデミーの開講

#### 3 低コスト造林の普及・スギ苗木の確保

疎植造林、コンテナ苗の増産

### 【木材産業】

#### 1 原木の安定供給体制の整備

原木市場における高速選木機の導入や協定取引の促進 など

#### 2 効率的な加工整備体制の整備

製材コスト削減に向けて施設の近代化

#### 3 製材品の需要拡大

国内外の販路拡大、公共施設等の木質化、CLTの普及啓発 など

#### 4 木質バイオマスの推進

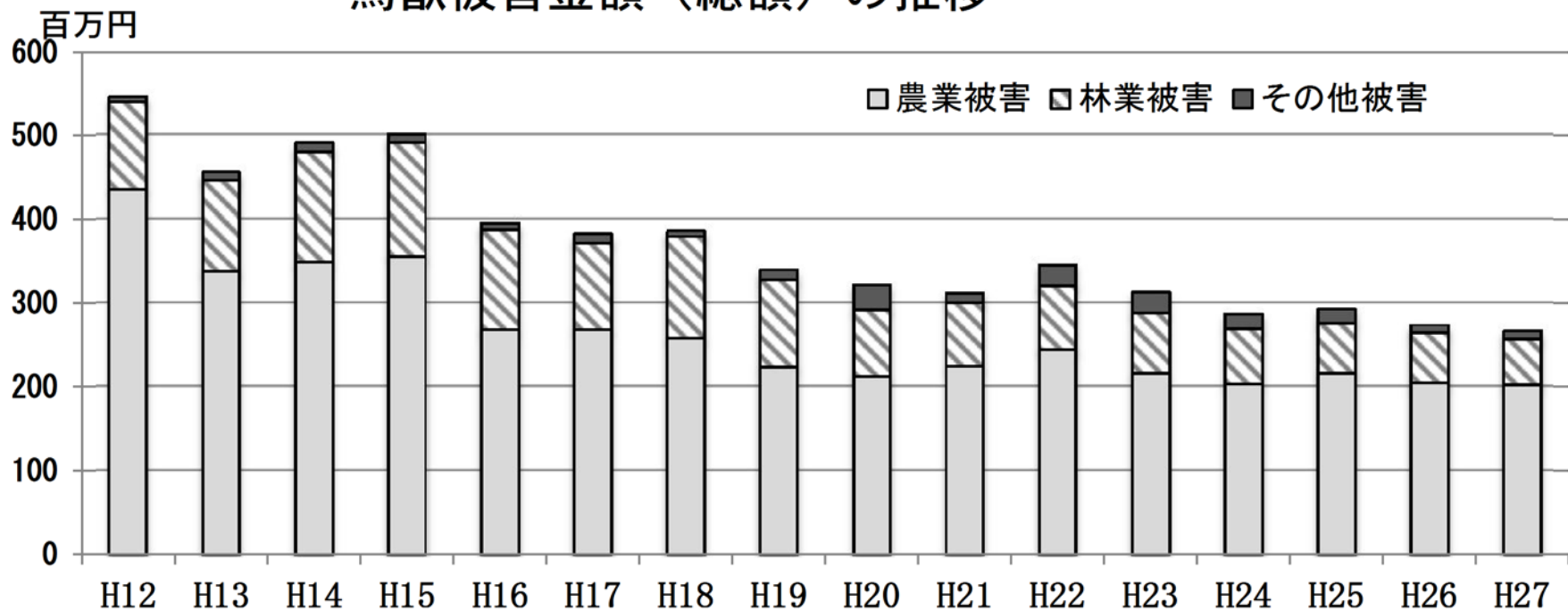
林地残材の利活用



## Ⅱ 森林におけるシカ等鳥獣害の現状と課題

### 1 大分県の鳥獣被害・捕獲数・狩猟免許所持者の推移

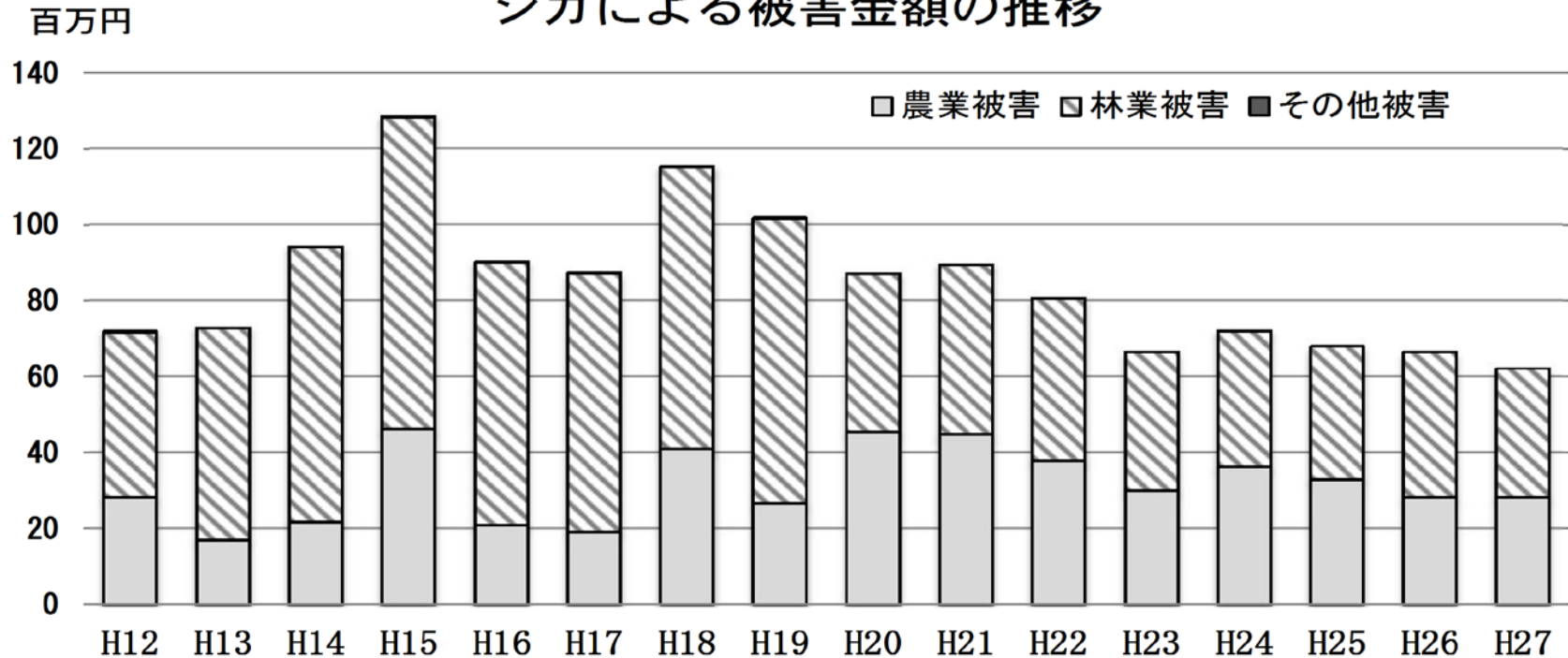
#### 鳥獣被害金額（総額）の推移



単位:百万円

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害額	546	456	491	501	396	383	387	340	322	313	346	313	287	294	274	267

## シカによる被害金額の推移



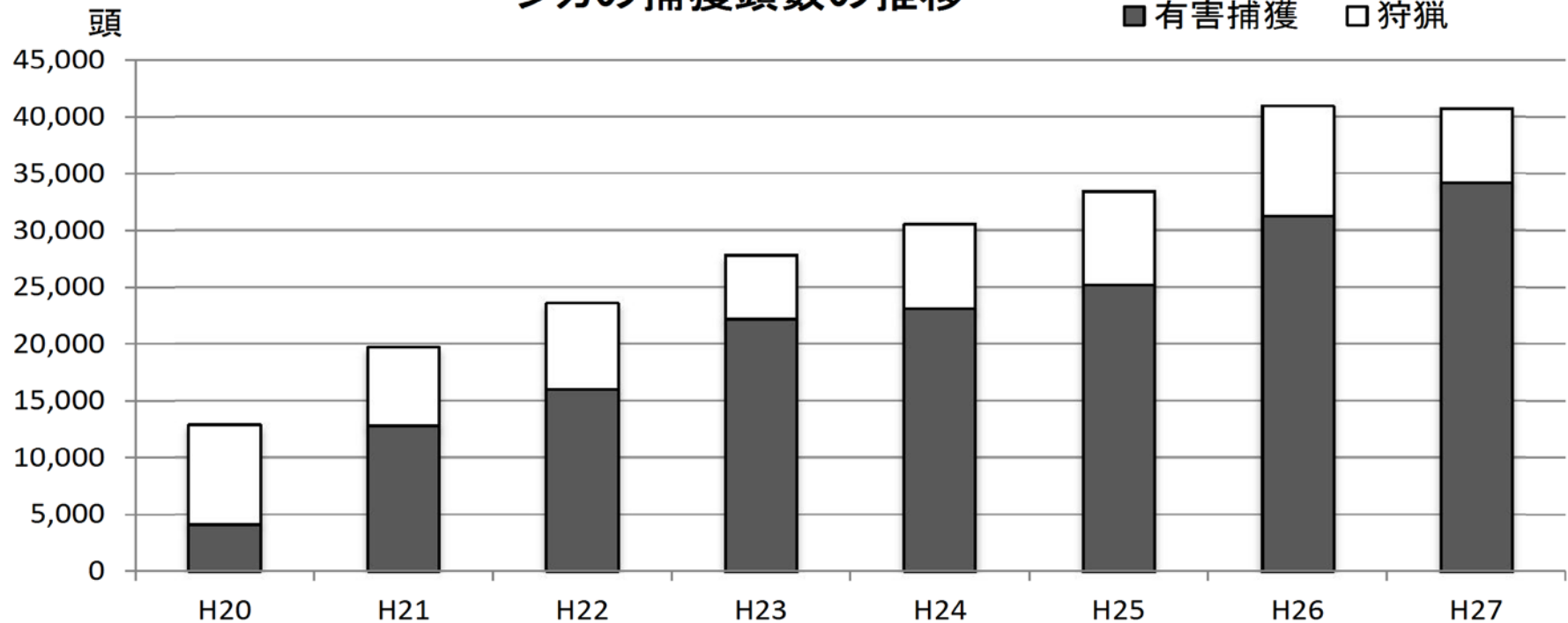
単位：百万円

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
被害額	72	73	94	129	90	87	115	102	87	90	81	67	72	68	67	62
林業被害	44	56	72	82	69	68	74	75	42	45	43	37	36	35	38	34

### 林業被害の内容

植栽木・クヌギ萌芽の食害、樹木の皮剥、シイタケの食害

## シカの捕獲頭数の推移



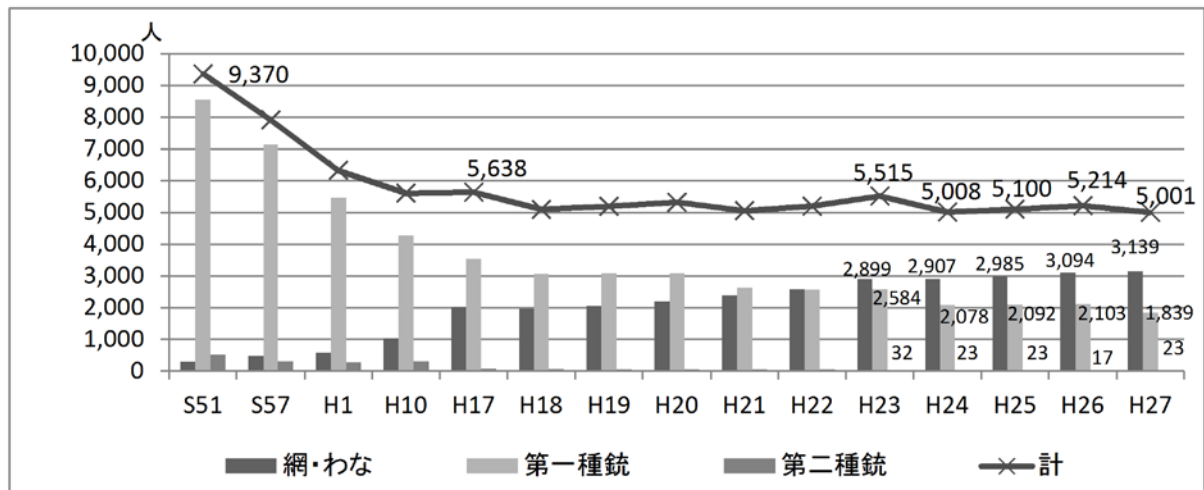
単位：頭

シカ	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
狩猟	8,734	6,966	7,612	5,621	7,499	8,237	9,713	6,438
有害捕獲	4,176	12,757	16,039	22,190	23,098	25,180	31,250	34,253
計	12,910	19,723	23,651	27,811	30,597	33,417	40,963	40,691

わなによる捕獲が多い

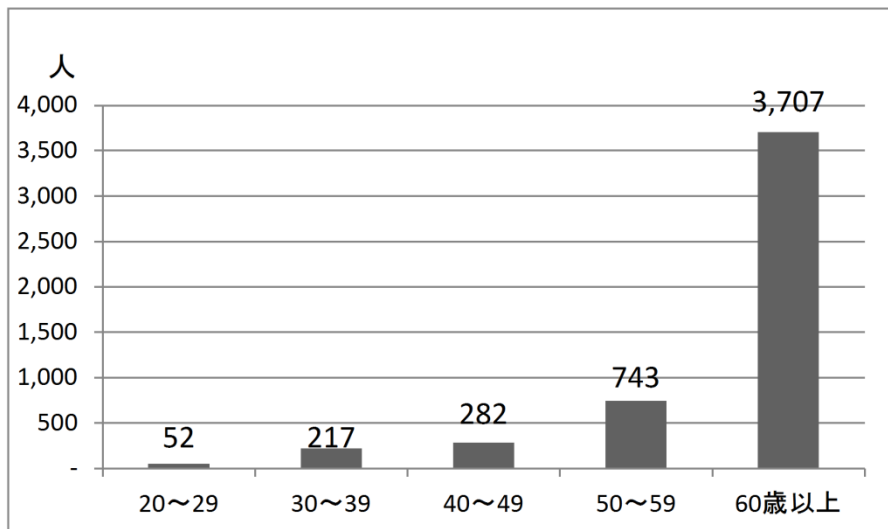
### ①狩猟免許所持者数の推移

- 最近5年間の①免許者数は微減、②わな猟は増加、③銃猟は減少傾向にある



### ②狩猟免許所持者年齢構成 (H28.4.1時点)

- 狩猟免許所持者の74.1%が60歳以上であり、30歳未満は1%



	銃	わな	第一種	第二種	合計
H25		177	30	1	260
	(1)	(38)	(13)		
小計	1	215	43	1	
H26		274	36	1	380
	(1)	(53)	(15)		
小計	1	327	51	1	
H27	1	196	37	7	316
	(4)	(56)	(14)	(1)	
小計	5	252	51	8	

## 2 シカ被害を防止するための課題

### 1 狩猟者の確保

- ・新規就農者等を対象とした狩猟セミナーの開催
- ・農林業関係団体を対象とした狩猟免許講習会の開催 など

### 2 シカの効果的な捕獲

- ・AI(人工知能機能)ゲート、ドロップネットの導入
- ・指定管理鳥獣捕獲等モデル事業の実施(認定鳥獣捕獲等事業者(猟友会)による捕獲)
- ・自衛隊演習場内での有害鳥獣捕獲の実施
- ・県内及び九州広域での一斉捕獲の実施
- ・捕獲報償金制度による捕獲支援 など

### 3 獣肉の安定供給体制の整備と需要拡大

- ・九州狩猟肉加工センター(由布市にH28.5開所)を核とした需要拡大
- ・狩猟肉等利活用プロジェクトチームの設置・協議